

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
今般の新型コロナウイルス感染拡大が続く中、日々活動されていることに感謝と敬意を表します。
現在施設様におかれましては入院患者様への面会禁止や外来制限、取引業者の不要不急の訪問を禁止されているところもあるかと思えます。そういった中で、現在FMD News の臨時配信を行っております。

facebook



FMD
OWNER'S CLUB

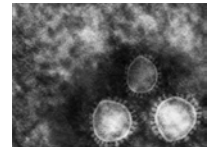


新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による重症化に血管内皮の炎症が深く関わっている THE LANCETより



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による重症化の原因に動脈硬化があるようです。中国武漢のデータでは、COVID-19により集中治療を受けた方の25%に心臓病があり、16.7%に脳血管障害があったと報告されています。

現在、世界各国でCOVID-19に関する論文が次々と発表されておりますが、今回はスイス チューリッヒ大学のグループより血管内皮に焦点を当てた研究が発表されましたのでご報告致します。



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染者において、重症化のリスクとして呼吸器疾患だけでなく、心血管疾患も重要な脅威であると言われている。今回、組織学的に分析したところ、重症化し死亡した例では血管内皮細胞内にウイルスが発見され、内皮細胞に関連する炎症細胞が心臓や小腸、肺に蓄積されていることが分かった。また、別の患者では死後の病態において、肺や心臓、腎臓、肝臓などにリンパ性の内皮炎症が確認され、小腸の粘膜下の血管でも内皮の炎症が確認された。更に呼吸器不全を起こし、小腸切除を行ったものの生存した患者においても、小腸粘膜下の血管およびアポトーシス小体の顕著な内皮炎症が明らかとなった。したがって、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と血管内皮細胞の炎症が関連していることが明らかとなり、内皮細胞を正常に保つことが重症化予防に重要であると考えられる。

DOI:[https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(20\)30937-5](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(20)30937-5)

日本臨床栄養代謝学会から発表された「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の治療と予防に関する栄養学的提言」によりますと、ウイルス感染症であっても、発熱に代表される炎症反応によって、さらに呼吸困難などの臓器機能の障害やそれに伴う生体への侵害で、著しいエネルギーと蛋白が消費されることが知られており、その喪失量は一日必要量の1.2~2.0倍を示すこともあるそうです。そのため、十分なエネルギーや蛋白・アミノ酸などの栄養補給が重要だと記されています。

したがって「今回のCOVID-19のように、まだ治療法や予防法が確定していない伝染性の疾患では、その発症や予後が個々の免疫力に依存することになる。このようなケースでは、やはり前もって身体の栄養状態を高め、かつ維持しておくことが肝要と考えられる。」と書かれている通り、普段からバランスの良い食事を心がけ、足りない栄養素は補助食品等で補い、免疫力を高めておくこと、内皮機能を正常に保つことを心がけておきたいですね。